

## 第5学年 国語科学習指導案

日 時：平成21年10月2日（金）5校時

児 童：第5学年 男16名 女15名 計31名

指導者：荒谷 英彦

場 所：5年教室

### 1 単元名 目的に応じた伝え方を考えよう

教材名 「ニュース番組作りの現場から」「工夫して発信しよう」（光村図書「大地」5年下）

### 2 単元について

#### (1) 単元について

第5学年及び第6学年の「読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容の要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。」ことである。本単元に関わる内容としては、「イ 目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること。」「ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。」が指導事項となる。

また、「書くこと」の目標は、「目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えて文章に書く能力を身に付けさせるとともに、適切に書こうとする態度を育てる。」ことである。本単元に関わる内容としては、「ア 考えたことなどから書くことを決め、目的や意図に応じて、書く事柄を収集し、全体を見通して事柄を整理すること。」「ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。」「オ 表現の効果などについて確かめたり工夫したりすること。」「カ 書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合うこと。」が指導事項となる。

本単元は、「ニュース番組作りの現場から」と「工夫して発信しよう」の2つの教材で構成されている。第1教材「ニュース番組作りの現場から」は、ニュース番組の特集の作り方について全体の流れを時間の進行に沿ってまとめた文章である。時間に沿って報道スタッフの役割や情報収集、編集会議のあり方、伝えたい内容の絞り込み方等が分かりやすく整理されている。そのため、時系列に沿って大事な事柄に注意して読み取る力をつけることができる内容と考える。第2教材「工夫して発信しよう」は、第1教材文の読み取りを生かし、自分が伝えたいことや相手が知りたいことを考え、計画・取材・編集といった活動を通して、情報を発信する力を高めることのできる教材である。

これらのことから、本単元の目標を「文章構成をつかみ、要旨をとらえて、ニュース番組がどのように作られるか知り、伝えたいことと伝える方法について興味を深めることができる。」「伝えたいことをどのようにして伝えるか考え、形にして発信することができる。」と設定した。

#### (2) 児童について

「読み、理解する力」については、一つ一つの段落の内容やいくつかの段落が集まったまとまりの内容を、表に整理しながら読み取らせるように指導を行ってきた。その結果、段落やま

とまりの役割を意識するようになり、筆者がどのような事例を根拠として、自分の考えを読み手に伝えようとしているのかを考えながら文章を読もうとするようになってきた。

「論理的に考える力」については、読み取った筆者の考えに対し、これまでの生活体験や図書、インターネットで調べたことをもとに、自分の考えを文章にまとめる活動を行わせてきた。その結果、自分なりの根拠を示しながら、筆者の考えに対する自分の考えを持てるようになってきた。

「表現する力」については、自分の考えを伝える方法の一つとしてマニフェストの作成や発表、相互評価を行わせた。また、読み取った文章の内容について考えを交流する活動を行わせてきた。その結果、調べたことや自分の考えを相手に分かりやすく話したり書いたりする学習に意欲的に取り組むようになってきた。

### (3) 指導にあたって

「国語の力」を高めるために、次のような仮説に関わる指導を行っていきたい。

#### ①仮説1「言語活動を取り入れた単元の工夫と展開」について

第一次では、まず、単元全体のねらいを知らせるとともに学習の見通しをしっかりと持たせたい。学習のゴールを「4年生に、ふるさと交流学習会（第5学年の行事、紫波町児童との交流会）が楽しみになるように、活動の様子を写真と言葉で伝えること」と設定する。そのためには、教材文の学習を通し、「特集がどのようにして作られていくのか」を知ることが必要であることを確認し、目的意識を持って学習を進めていけるようにする。

第二次では、第一教材「ニュース番組作りの現場から」を読む前に、第二教材「工夫して発信しよう」を読み、特集を作り上げるまでの大まかな手順をつかませたい。なぜなら、この手順が第一教材を読み取る際の「読み」の視点になるからである。「読み」の視点を知った後、第一教材を読んで、ニュース番組を作る過程を時系列に沿って表にまとめたり、番組を作るにあたって大事な点や工夫を表にまとめたりして要点を的確に押さえさせたい。

また、富士山の噴火に備えた初めての防災訓練の事例は、明確な文章で述べられている部分は少ないが、発信する側のスタッフの思いや願いを感じ取らせたい。スタッフがどうしても伝えたいという強い思いをもって番組を作っていることを押さえ、第三次の意欲につなげていきたい。

第三次では、情報を発信するまでの過程や大事な点、工夫、思いを捉えさせた上で、「4年生にふるさと交流学習会について伝えよう」という言語活動を設定した。ここでは、相手や目的に応じた伝え方を考えさせるとともに、情報の発信を行わせる。児童一人ひとりが主体的な情報の発信者となるように、個々でテーマを設定し活動を行わせる。また、今回は、「編集」に重点を置き指導していくこととした。

まず、相手や目的を確認し、「ふるさと交流学習会」のどの場面を伝えたいのかを決めさせ、効果的に伝えられる材料（活動の様子を記録したメモや「ふるさと交流学習会」の様子を撮影した写真）を選ばせる。

次に、写真の順序を考え、その写真に応じた説明の言葉を考えさせる。その際、自分の考えを持たせた後、グループ学習を行い、各自の考えを発表しあい、友達の考えに対する助言や自分の考えの見直しを行わせる。

その後、学級内において、実物投影機で写真を示しながら言葉で説明を加えて発表をさせる。その様子をビデオで撮影し、4年生に見てもらおうこととする。

#### ②仮説2「児童が主体的に学習に取り組めるような学習形態の工夫」について

第二次では、ペア学習を行いながら読み取った内容について互いに確認し合いながら学習を進められるようにする。

第三次では、用いる写真やそれに対する言葉による説明について各自が考えを持った後、グループ学習の場を設定し、各自の考えを発表し合うとともに、友だちの考えに対する助言や、助言や友だちの発表から学んだことをもとに自分の考えを見直す活動を行う。その際、観点（4年生が来年の活動が楽しみになるように、①写真が選ばれているか。②写真の順序は効果的か。③説明の言葉は、聞いて分かりやすいか。④一文が短く、主語と述語の間が空きすぎているか。）を明確にして学び合いができるようにする。この観点については、第三次の初めにも確認しておく。

#### ③仮説3「支える力としての言語環境や読書環境を整える」について

学習を支える言語環境としては、朝の対話活動などを通して、自分の考えを持たせた後、その理由を説明する活動をしながら、自分の考えを発表することに対する抵抗を少なくするとともに、根拠を持って説明する力を高めるようにする。

読書環境については、学校の図書室や町立図書館の報道や情報、通信に関する本を学級文庫に置き、朝読書の時間に読めるようにしたり、必要に応じて学習の参考としたりできるようにする。

### 3 単元の目標

◎ 文章構成をつかみ、要旨をとらえて、ニュース番組がどのように作られるかを知り、伝えたいことと伝える方法について興味を深めることができる。

◎ 伝えたいことをどのようにして伝えるか考え、形にして発信することができる。

(関心・意欲・態度)

○ニュース番組の「特集」がどのように作られているかに関心を持ち、その過程を興味深く追いながら進んで読もうとする。

(話すこと・聞くこと)

○聞き手に分かりやすいように、組み立てを考えて話すことができる。

(書くこと)

○相手や目的に応じ、必要な材料を選んだり加工したりして書くことができる。

(読むこと)

○自分たちが情報を発信するために、必要な事柄を時間の順序に従って読み取ることができる。

○番組作りの大切な点を的確に押さえながら報道スタッフの願いなどを読み取ることができる。

#### 4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
<p>・ニュース番組の「特集」がどのように作られているかに関心を持ち、その過程を興味深く追いながら進んで読もうとしている。</p>	<p>・聞き手に伝えたい内容がよく分かるような話の組み立てを考えながら、適切な言葉遣いで話している。</p>	<p>・相手意識や目的意識を持ちながら、必要な材料を選び、配列を考えたり加工したりして書いている。</p>	<p>・自分たちが情報を発信するために必要な事柄を時間の順序に従って読み取っている。</p> <p>・番組作りの大切な点を的確に押さえながら報道スタッフの願いなどを読み取っている。</p>

#### 5 単元指導計画（14時間）

次	時	主な学習活動	評価規準（評価方法）
第一次	1	○テレビニュースを見た経験をもとに、その感想を発表しあう。	<p>【関】意欲的に感想を書いたり発表したりしている。 （発言・ノート）</p> <p>【読】情報を発信するまでの大まかな手順を読み取っている。 （発言・ワークシート）</p> <p>【関】伝えたいことを考え、学習全体の見通しを持つ。 （発言・ノート）</p>
	2	○「工夫して発信しよう」を読み、情報を発信するまでの大まかな手順を確かめる。	
		○誰に何を伝えるか確認し、学習全体の見通しを持つ。	
第二次	3	○「ニュース番組作りの現場から」	<p>【読】ニュースを人々に伝えるまでの過程を読み取り、表にまとめている。 （発言・ワークシート）</p> <p>【読】番組作りの過程で大事な点や工夫を読み取り表にまとめている。（発言・ワークシート）</p> <p>【読】報道スタッフの「願い」が分かる場所を探し、その願いを読み取っている。 （発言・ライン・ワークシート）</p>
	4	を読み、ニュースの「特番」ができるまでを読み取り、まとめる。	
	5	○番組作りの過程で大事な点や工夫、放送原稿の特徴と工夫を読み取り、まとめる。	
第三次	6	○「富士山の特集」の事例から報道スタッフの願いを読み取る。	<p>【書】相手や目的を考え、伝える内容を考えている。 （発言・ワークシート）</p>
	7	○読み取ったことをもとに情報発信までの手順を確認する。	
第	8	○相手や目的を確認し、「ふるさと交流学習会」のどの場面を伝えたいのかを決める。	

三 次	9	○効果的に伝えられる材料（活動の様子を記録したメモや「ふるさと交流学習会」の様子を撮影した写真）を選ぶ。  ○効果的な写真の順序を考え、その写真に応じた説明の言葉を書く。	<b>【書】</b> 相手や目的に応じた材料を選び、構成や配列を考えるとともに、それに応じた説明の言葉を書いている。 (発言・ワークシート)
	10	○グループ内で、編集したものを発表し合い、友だちの伝え方の良さや改善点を出し合うとともに、自分の改善点を見つける。	<b>【書】</b> 各自編集したものを発表し合い、観点に沿って、友だちや自分の伝え方の良さや改善点を見つけている。 (観察・ワークシート)
	11	○改善点の見直しや発表の練習を行う。	<b>【書】</b> 友だちの伝え方の良さや助言をもとに、自分の伝え方を見直している。 (観察・ワークシート)
	12 ・ 13	○学級内において、実物投影機で写真を示しながら言葉で説明を加えて発表をする。 (その様子をビデオで撮影し、4年生に見てもらう。)	<b>【話・聞】</b> 相手に伝わりやすいように、音声面(間・調子)に気をつけて話している。 (発表) <b>【読】</b> 友だちの伝え方の良さに気づき、相互評価カードに記述している。 (相互評価カード)
	14	○相互評価や4年生から感想カードの内容について知るとともに、学習の振り返りを行う。	<b>【書】</b> 伝えたいことが伝わったか、効果的な良さなどについて自己評価をしている。 (発言・自己評価カード)

6 本時の指導

(1) 本時の目標

- ◎ 編集したものを発表し合い、観点に沿って、友だちや自分の伝え方の良さや改善点を見つけることができる。(書くこと)

(2) 展開

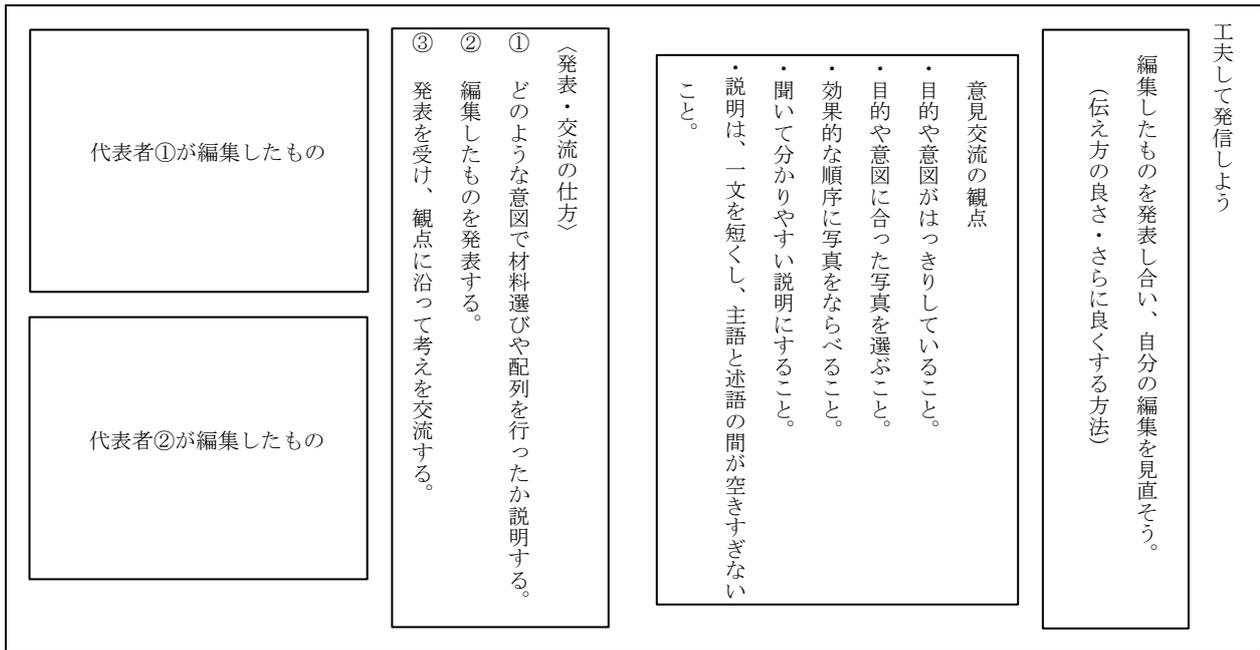
段階	学習活動	発問と予想される反応	指導上の留意点 (※支援 ☆評価)
導入 5分	1 前時の学習を想起するとともに、相手と目的を再確認する。	○誰に、どんな目的で、情報を発信するのですか。 ・4年生に「ふるさと交流学習会」の活動の様子や楽しさを伝えるため。 ○今日の課題を確かめましょう。	※単元計画表や前時の学習から確認する。 ※活動のねらいからずれないように、情報を発信する相手と目的を確認する。
	2 本時の学習課題を確認する。	編集したものを発表し合い、自分の編集を見直そう。 (伝え方の良さ・さらに良くする方法)	
展開 35分	3 考えを交流し合う観点を確認する。	○編集をするときどんなところに気をつけて行えばよかったですか。 ・目的や意図がはっきりしていること。 ・目的や意図に合った写真を選ぶこと。 ・効果的な順序に写真をならべること。 ・聞いて分かりやすい説明にすること。 ・説明は、一文を短くし、主語と述語の間が空きすぎないこと。	※課題解決の手がかり(観点)に着目することを確認する。
	4 編集したものを発表し合い、観点に沿って考えを交流する。 (1グループ 3～4名)	○編集したものを発表し合い、観点に沿って自分の考えを友だちに伝えましょう。 〈発表・交流の仕方〉 ① どのような意図で材料選びや配列を行ったか説明する。 ② 編集したものを発表する。 ③ 発表を受け、観点に沿って考えを交流する。	※聞き手は、観点ごとの評価と良さや助言をワークシートに記入した後、自分の考えを発表者に伝えるようにする。 ※全員の発表に対する考えの交流が終わったグループは、自分の改善点を考えさせる。

	<p>5 全体で交流する。</p> <p>・ 代表者（2名）の編集したものと、グループ内での交流の様子を発表する。</p>	<p>○ グループでどのような発表や考えの交流がなされたのか、みんなに教えてください。</p>	<p>☆ 編集したものを発表し合い、観点に沿って、友だちの良さや改善点を見つけている。 (発言・ワークシート)</p> <p>※代表者の2つの発表は選んでいる材料や配列は異なるがいずれも相手意識や目的意識、意図をしっかりと持ち、編集されていることを確認する。</p>
	<p>6 グループや全体での交流を受け、自分の改善点を見つける。</p>	<p>○ グループや全体での考えの交流をもとに、自分の編集したものの改善点を考え、ワークシートに書きましょう。</p>	<p>☆交流を受け、観点に沿って自分の改善点を見つけている。 (発言・ワークシート)</p>
終末5分	<p>7 本時の学習を振り返る。</p> <p>・ 自己評価と感想を書く。</p> <p>8 次時の学習内容を確認する。</p>	<p>○ 今日の学習を振り返って、自己評価と感想をワークシートに書きましょう。</p> <p>○ 今日、明らかになった改善点をもとに、編集したものの見直しや発表練習をしましょう。</p>	

(3) 具体的評価規準

評価領域	◎十分に満足できる	○おおむね満足できる	支援を要する児童への手だて
読むこと	<p>編集したものを発表し合い、観点に沿って、友だちや自分の伝え方の良さや改善点を見つけている。</p> <p>また、友だちに建設的な助言を行っている。</p>	<p>編集したものを発表し合い、観点に沿って、友だちや自分の伝え方の良さや改善点を見つけている。</p>	<p>自分と友達の発表の違いに目を向けさせ、友達の発表の良さに気付かせる。</p> <p>また、友だちの助言から自分の改善点を考えさせる。</p>

## 7 板書計画



## 8 参考資料

・情報の選び方・使い方

中村 司

ポプラ社

・崩壊する映像神話

新藤 健一

筑摩書房

・調べ学習まとめの新聞作り

学校 I T 化推進クラブ

ラピュータ

・インタビュー術

永江 朗

講談社現代新書

・グループインタビューの技法

井下 理 他

慶應義塾大学出版社

単元名 目的に応じた伝え方を考えよう

教材名 「ニュースづくりの現場から（光村図書 「国語五年下」 大地）」

指導目標 (関心・意欲・態度) ○ニュース番組の「特集」がどのように作られているのかに関心を持ち、その過程を興味深く追いながら進んで読もうとする。

- (話すこと・聞くこと) ○聞き手に分かりやすいように、組み立てを考えて話すことができる。
- (書くこと) ○相手や目的に応じ、必要な材料を選んだり加工したりして書くことができる。
- 自分たちが情報を発信するために、必要な事柄を時間の順序に従って読み取ることができる。
- 番組作りの大切な点を的確に押さえながら報道スタッフの願いなどを読み取ることができる。

意味 段落	形式 段落	教 材 分 析
I 話題 提示	①	<p>多くの人が関心を持ちそうな話題、関心を持ってもらいたい話題 ↓ 時間をかけて詳しく取材 ↓ 特集</p> <p>ここでは、あるニュース番組で、防災訓練が特集として取り上げられるまでの過程を見てみましょう。</p>
II 話題選 び	②	<p>(放送の十六日前) 特集の話題選</p> <p>山梨県の支局かられんらく ↓ デスクは、富士山の噴火に備えた訓練はこれが初めてであるということにおどろきました。</p> <p>多くの人の関心をよく話題だと考えて、ニュース番組の中で特集として伝えることにしました。</p>
III 企画会 議 I	③	<p>放送の十六日前 会議① 何を中心に取材するのか決定</p> <p>さつそく(デスクが)ディレクターとアナウンサーを決め、二人を呼んで会議</p> <p>話し合った結果 なぜ富士山の噴火に備えた訓練がこれまでなかったのか</p> <p>なぜ訓練をすることになったのか</p> <p>この二つの疑問を中心に取材しようとした。</p>
IV 取材	④	<p>(十五日前〜九日前) 取材開始</p> <p>ディレクターは、取材を始め、ぐに問い合わせたり、ぐに開する資料を集めたりしました。</p> <p>取材で最も大切なのは正確さ 誰に聞いた話でも、他の人の話や資料で確かめます。</p>
V 取材して分 かったこと	⑤	<p>(十五日前〜九日前) 取材で分かったこと (今まで実施しなかった理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住民の間あまり危機感がない</li> <li>観光が重要な産業 観光客に不安をあたえてしまっ</li> <li>これまで地元住民多くが必ずしも積極的ではなかった。このような住民感情</li> <li>県の人たちも防災訓練を行うことに踏み切れなかった。</li> </ul> <p>(十五日前〜九日前) 取材で分かったこと (今回実施することになった理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>富士山が現在も活動中の火山であることを住民も改めて知った。</li> <li>北海道の有珠山の噴火被害の予想・ひなん地図・訓練を重ね一人の死者もないことが報道され、訓練の大切さを学ぶ</li> <li>これらのことから、県は住民の理解が得られると判断 訓練をすることに</li> </ul>
VI 企画会 議 II	⑦	<p>放送の八日前 会議② どういう内容を中心に伝えるか確認</p> <p>こうした取材結果をもとに、スタッフは再び会議 どういう内容を中心に伝えるか改めて確かめた。</p> <p>本番で使うビデオ映像 だれにインタビューするか、どこをさつそくするかを決めた</p>
VII 撮影	⑧	<p>(七日前〜二日前) さつそく(映像、インタビュー)</p> <p>テレビでは、言葉だけでなく、映像も大きな役割を持つので目で見て分かるように工夫をこらす。</p> <p>住民にインタビュー 画面のどこかに富士山が写るように ↓ 富士山のすぐそばを知ってもらうため</p> <p>実際のひなん訓練 Ⅱ アナウンサーも参加 ↓ 住民の声を聞く</p>
VIII 編集	⑨	<p>放送の二日前 撮影終了 編集開始</p> <p>ディレクターはデスクと相談して編集</p> <p>ディレクターは、これまで行われなかった訓練がなぜ実現したのか、訓練に参加した住民はどう思ったのか、その答えが分かるように編集しようと考えた。</p> <p>前半は、ぐを中心にまとめ、後半は、ぐを中心にしました。</p>
IX 原稿	⑩	<p>同時に(放送の二日前〜前日) 放送原稿を書く</p> <p>全体の構成を考えて、ディレクターが放送原稿を書き始めます。</p> <p>放送原稿には、アナウンサーがビデオの映像に合わせて読む文章を入れる。</p> <p>放送原稿の書き方の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>耳で聞いて分かりやすいように言葉を選ぶ</li> <li>初めに結論を言い、理由を後から述べる</li> <li>一文は短くして、主語と述語の間なるべく空けないように</li> <li>ひと目で分かるように地図や表なども用意</li> </ul>
X 放送	⑪	<p>放送当日</p> <p>いよいよ特集が放送 キャスターⅡニュース番組の進行役「今日の特集は富士山です。」</p> <p>ビデオ映像 ↓ キャスターが「噴火のきさしはあるのですか。」と問いかけ</p> <p>アナウンサーは、「噴火につながるようなぐいばんの防災です。」と結びました。</p> <p>それはデスクやディレクターが取材を重ねてきて最も伝えたかったこと</p>
XI 筆者のま とめ	⑫	<p>報道スタッフが感じたおどろきや疑問はニュース番組を作るときの大事故の出発点です。(②に対応)</p> <p>こうしたおどろきや疑問にもとづいて、取材を進めるうちに答えが少しずつ見つかり、やがて伝えたいことがまきまします。(④⑤⑥⑦に対応)</p> <p>報道スタッフは、それを分かりやすく伝えるためにインタビューやさつそくなどをして、材料を集めます(⑧に対応)</p> <p>その中から、見ている人にねがうことがあると思うことを選び、また知ってほしいという願いをこめてニュース番組を作っているのです。(⑨⑩⑪に対応)</p>

・手がかりになる語句 ○中心語句

・ニュース ・いち早く ・過程

○特集 ○多くの人が関心を持ちそうな話題

○関心を持ってもらいたい話題

・報道スタッフ ・デスク ・支局

・初めてのひなん訓練 ・おどろきました

○多くの人の関心をよく話題だと考えて、ニュース番組の中で特集として伝えることにしました。

・さつそく ・ディレクター ・アナウンサー

・会議 ・話し合った結果 ・なぜ ・取材

○放送の十六日前

○三人で話し合った結果、この二つの疑問を中心に取材しようとした。

・取材を始め ・問い合わせ ・資料 ・正確さ

・確かめ

○取材 問い合わせる 資料を集める 確かめる

・危機感 ・観光 ・必ずしも積極的でない

○取材で分かったこと ○住民感情 ○踏み切れぬ

・活動中の火山 ・有珠山の噴火

・一人の死者もない ・報道

○訓練の大切さを学ぶ

○理解が得られると判断

・放送の八日前 ・会議

・インタビュー ・さつそく

○どうい内容を中心に伝えるか改めて確かめた。

・インタビュー ・アナウンサー ・住民の声

・ぐを知ってもらうため

・どこかに富士山が写るように

○さつそく ○目で見てわかるように工夫

・前半は、ぐを中心にまとめ、後半は、ぐを中心に編集

○答えが分かるように編集しよう

・同時に ・全体の構成を考えて ○放送原稿

・耳で聞いて分かりやすいように言葉を選ぶ

・初めに結論を言い、理由を後から述べる

・一文は短くして、主語と述語の間なるべく空けないように

・ひと目で分かるように地図や表なども用意

・放送当日 ・いよいよ

・キャスター ・問いかけ ・結び

○取材を重ねてきて最も伝えたかったこと